

「わが国で分離されるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の分子疫学的解析」に関係する患者さま、ご家族の皆様へ

当院では、「わが国で分離されるカルバペネム耐性腸内細菌科細菌の分子疫学的解析」という調査、研究を行っています。腸内細菌科の中には大腸菌、肺炎桿菌（はいえんかんきん）、セラチアなどの菌が含まれさまざまな感染症の原因となります。これらの菌に対してカルバペネム系抗菌薬と呼ばれる抗菌薬は従来、きわめて強力な薬剤でしたが、近年この薬剤に耐性を示す菌が出現し、問題となっています。このような細菌がどのようなメカニズムで耐性となっているのか、またそれによる感染症がどのような臨床像を示すのかを明らかにすることが研究の目的です。この研究は、国立感染症研究所による全国調査の一環として行われるものです。

〔調査の対象となる患者さま〕

平成 27 年 9 月 29 日から平成 28 年 2 月末日までに、当院で喀痰（かくたん）などの臨床検体からカルバペネム耐性腸内細菌科細菌が分離された患者さまが対象となります。また、その前後 1 週間に分離された同一菌種のカルバペネム感受性の腸内細菌科細菌が分離された患者さまも対象となります。

〔調査方法〕

分離された菌株を、国立感染症研究所 細菌第二部へ送付して解析します。同時に患者様のカルテ等の記録を元に調査を行います。本調査では、患者様に新たなご負担をおかけすることはありません。

〔患者さまのプライバシーに関して〕

プライバシー・個人情報厳重に守られます。国立感染症研究所での解析にあたっては、匿名化が行われますので、お名前、生年月日など患者様を特定できる情報が外に出ることは決してありません。

ご不明な点がございましたら、以下に示す本調査の研究代表者までお問い合わせください。また、この研究にカルテ情報を利用することをご了解頂けない場合も以下までご連絡ください。

〒591-8555 大阪府堺市北区長曾根町 1180
国立病院機構近畿中央胸部疾患センター
臨床研究センター 感染症研究部
露口一成
TEL: 072-252-3021 (代表) , FAX: 072-251-1372

なおこの調査は病院外の専門家の方を含んだ臨床試験審査委員会 (IRB) における厳重な審査・承認をうけて実施しています。